

2024年度運営協議会（CS）アンケートまとめ

2024年度は井荻小学校学校運営協議会（コミュニティスクール、CS）としてアンケート調査を10月に実施しました。過去のアンケートは3学期の1月頃実施していたのですが、アンケートから読み取れる要望をその年度内の学校運営協議会での話し合いに役に立てたいという趣旨で早めた次第です。実施したアンケート結果の簡単なまとめをCSだよりも報告していますが、この資料ではより詳しい報告をします。

今回のアンケートでは、実施時期ほかにもいくつかの変更点がありました。先ず、昨年度はアンケート回答を回答用紙による提出とWeb回答のどちらかでお願いしていましたが、ほとんど回答用紙による回答がなかったので、Web回答に一本化しました。アンケートの質問項目数はこれまでより少なくし、子どもたちの様子に関する質問を主としながら、重点的に3項目（学校との意思疎通、地域との関係、PTA）に絞って質問項目にしました。その3項目については個別の自由記述欄を設け、保護者の皆さんのご意見、ご感想を記入してもらいました。

昨年度から子どもたちへのアンケートも開始しました。昨年度は3年生から6年生まで共通のアンケートでしたが、今年度は3年生と4年生、5年生と6年生に別けて、質問項目や質問文章の異なるアンケートを作成しました

アンケート回答の結果は、運営協議会にとって井荻小の現状を正しく把握し、井荻小をより良くするための貴重な資料です。貴重な時間を割いて回答して下さった保護者の皆さん、一生懸命アンケートに回答してくれた子どもたちに深く感謝しています。

今回のアンケートの回収率は、保護者アンケート48%（回答数／家庭数、昨年度39%）、子どもアンケート89%（回答数／児童数、昨年度77%）でした。幸いにも昨年度より回収率が上がりました。保護者の皆さんからさらに多くのアンケート回答を望んでおります。今後ともご協力お願いいたします。

保護者アンケート設問集計

保護者アンケートの10個の設問は以下の通りでした。

設問1 子どもは、学校の授業が分かりやすい、あるいは楽しいと感じている

設問2 子どもは、着実に基礎学力を身に付けている

設問3 子どもは、先生を信頼して学校生活を送っている

設問4 子どもは、毎日学校に行くのが楽しそうだ

設問5 子どもは、学ぶ意欲や自分の考えを表現する力が高まってきており、あるいはその方向で育ちつつある

設問6 子どもは、自分や友達の良さを認めたり、きまりを守って生活したりしている

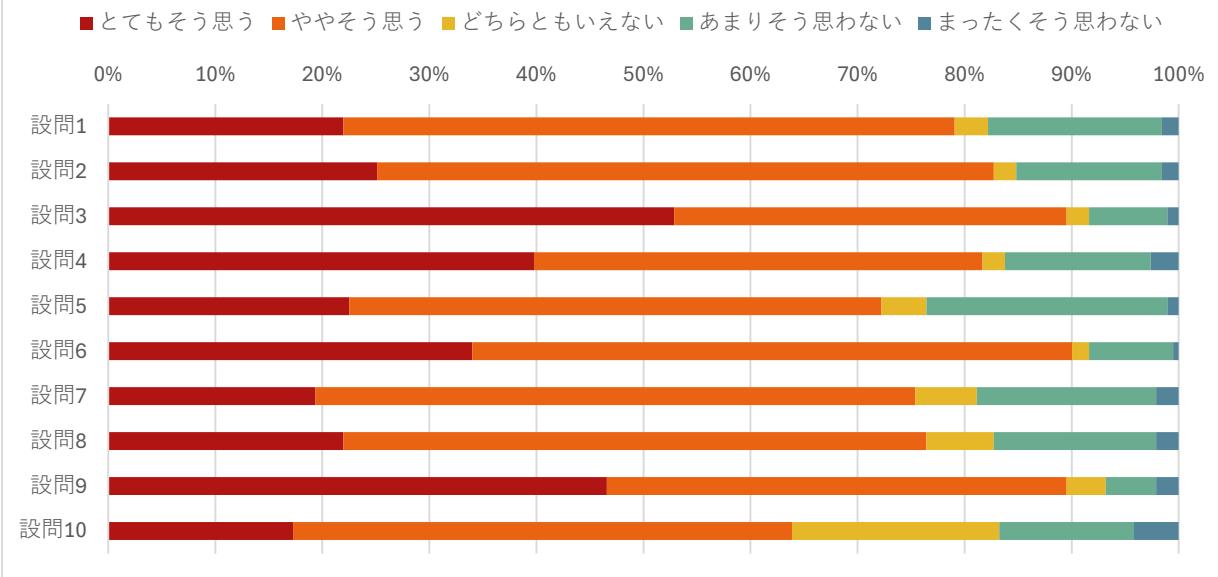
設問7 子どもは、最後までやり通す力を身に付けてきている、あるいはその方向で育ちつつある

設問8 学校の教職員と保護者は、本音の意思疎通を通じ協調して子育てに取り組む姿勢が大切と認識しています。その観点で現在井荻小の教職員との意思疎通は十分なされていると思いますか。

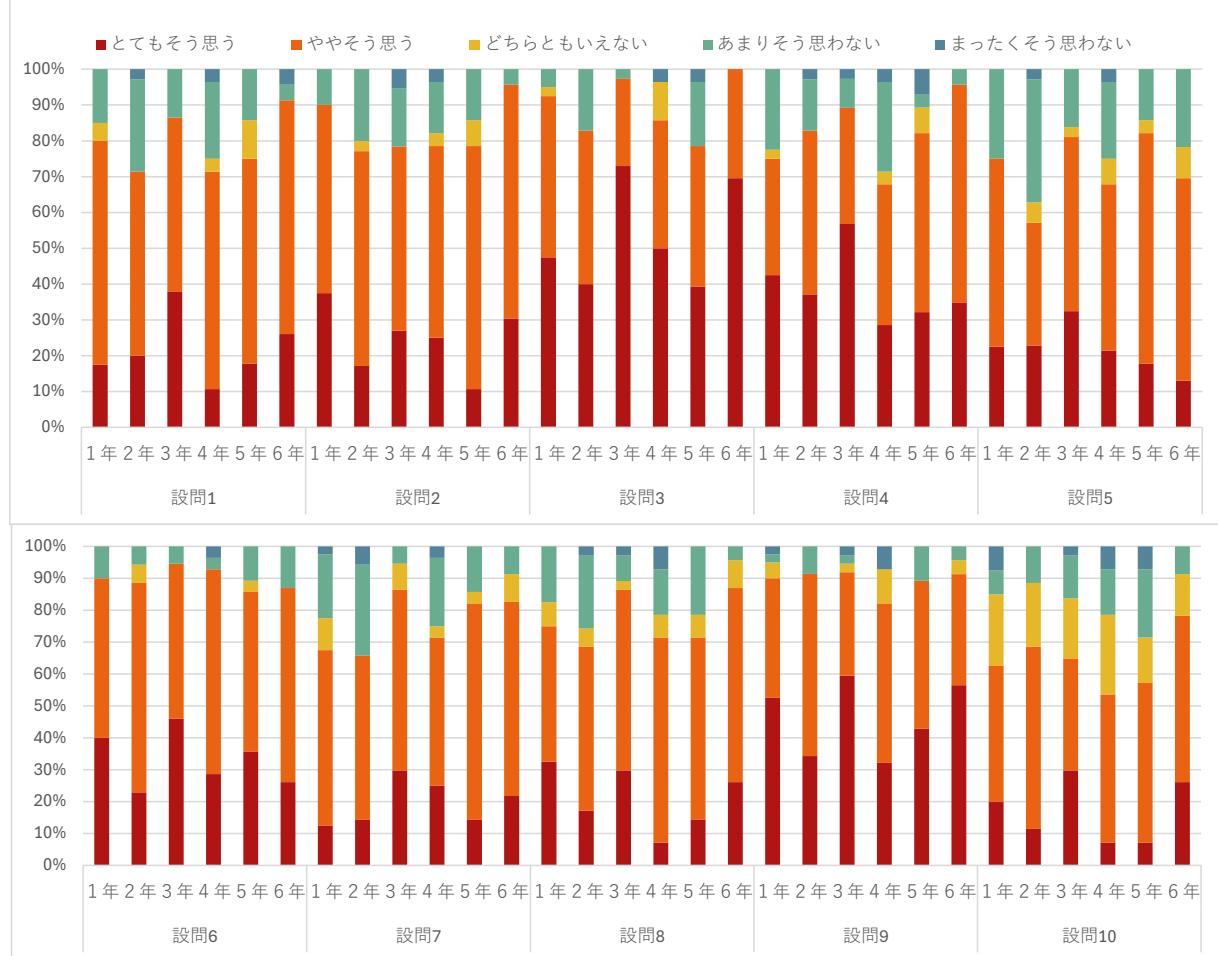
設問9 学校、家庭と地域が一体になり、相互に補完しながら子どもたちを育てていくことが大切と考えています。井荻小学校は地域の学校として機能しているでしょうか？

設問10 PTA活動は保護者の皆さんのご協力によって成り立っています。役員の方の負担という面もありますが、PTA活動によって多くの学校の教育活動が支えられているのは間違いないです。総合的に見て、井荻小のPTA活動はうまくいっているでしょうか。

グラフ1：保護者アンケート選択回答割合（全体）



グラフ2：保護者アンケート選択回答割合（学年別）



保護者アンケートの全学年集計結果はグラフ1です。設問3「子どもは、先生を信頼して学校生活を送っている」、設問6「子どもは、自分や友達の良さを認めたり、きまりを守って生活したりしている」、設問9「井荻小学校は地域の学校として機能しているでしょうか？」が90%前後の高い肯定率（とてもそう思うとややそう思

う）でした。全体的に見て各項目肯定的回答が多いことは、井荻小の教育がある程度肯定的に評価されていると言えるでしょう。一方、否定的回答（あまりそう思わないとまったくそう思わない）が20%を超える学年が多い項目には、設問5「子どもは、学ぶ意欲や自分の考えを表現する力が高まっている、あるいはその方向で育ちつつある」、設問7「子どもは、最後までやり通す力を身に付けてきている、あるいはその方向で育ちつつある」となっています。井荻小の教育の中で、一層重点を置いて取り組まねばならない課題の指摘ととらえられます。

グラフ2には保護者アンケート回答の学年別結果をまとめています。例年の集計結果と同様、学年ごとによる差異が見られました。その差異から断定的な判断を引き出すのは難しいですが、学年2クラスでクラス人数の多い2年生で肯定的回答率が低くなっています。

保護者アンケート自由記述欄のコメント

保護者アンケートでは、アンケートの3つの設問と自由テーマの計4つの以下のようないくつかの自由記述欄を設けました。

- (ア) 設問8に関連して、現状の意思疎通に関する問題点やよりよくするための改善方法など、自由にコメントを入力してください。
- (イ) 設問9に関連して、現在の井荻小の地域との関りについて、感じていることや地域に期待することをコメント欄に書いてください。
- (ウ) 設問10に関連して、コロナ禍でPTA活動の集まりも自粛される中で改めてPTAの大変な機能も再認識しました。保護者間の自然な交流を生み出すことやクラス・学年・学校全体の保護者の意見をまとめていく中心はPTAであることを念頭にPTA活動で感じていることをコメント欄に書いてください。
- (エ) 自由なテーマのコメントを書いてください。

自由記述欄に記入していただいたコメント数は、それぞれ(ア)56、(イ)79、(ウ)87、(エ)49で、合計で110名もの保護者が記入してくださいました。コメント数、人数ともに多く、深く感謝しております。

(ア)に関して、学校との意思疎通はうまくいっているとのコメントも多かった中、要望として担任との個人面談（現状夏に1回）の機会を増やしてほしいとのコメントが多く寄せられました。こうした要望を受けて、今年度中に希望する保護者との面談を実施する方向です。学校との連絡方法・手段の改善要望も多く寄せられていました。また、5年の1クラスが担任不在であることと2年生が2クラスで1クラスの人数が多いことに関し、保護者の不安が言及されていました。

(イ)の地域との関りの欄では、いおぎ丸、おやじの会、朝遊びや登下校見守り、いろいろなイベントへの感謝が多くコメントされていて、井荻小では地域とのつながりは全般的に充実していると言えます。一方で、地域と保護者の連携の希薄さの指摘もあり、PTAや保護者への負担のことやイベントの精査の必要性のコメントもありました。なお、いおぎ丸などにも新しいメンバーが加わっていますし、運営協議会委員も区の任期規定に従って交代もしていて、地域メンバーの固定化は避けられています。

予想はされていたことですが、(ウ)ではPTA役員の選び方やPTAの負担の重さに関するコメントが多くありました。PTA活動に様々な意見がある今日、PTAの話し合いの中で今後の方向性が決められることを願っています。一方で、忙しい中でも、子どもの教育をよくするためPTA活動に何とか関わりたいとか、PTA活動を通じて保護者同士の交流を広げたいというコメントもいくつか寄せられていました。

繰り返しになりますが、運営協議会委員全員が保護者の皆さんから寄せられた全てのコメントを読んでおり、運営協議会の話し合いの中で大切な資料となっています。

3-4年 子どもアンケート設問集計

以下14個の設問項目でした。

設問1 おうちの人に困(こま)ったとき自分の気持ちを伝(つた)えたり、相談(そうだん)したりできていますか?

設問2 おうちの人と学校でのことをよく話したりしますか?

設問3 おうちの人は授業(じゅぎょう)や行事(ぎょうじ)を見に来てくれることがうれしいですか?

設問4 おうちの人はよくほめてくれたり、自分や友達(ともだち)がまちがったことをしたときに注意(ちゅうい)してくれたりしますか?

設問5 おうちの人や先生いがいの人で、困(こま)ったことがあったときに相談(そうだん)できる人はいますか?

設問6 周(まわ)りの大人(おとな)の人に何かしてもらってうれしいことはありますか?

設問7 井荻小学校を好きですか?

設問8 授業(じゅぎょう)は分かったり、できたりするようになって楽しいですか?

設問9 おうちで自分から勉強(べんきょう)を始(はじ)めることができますか?

設問10 先生に何でも話したり、困(こま)ったとき相談(そうだん)したりできますか?

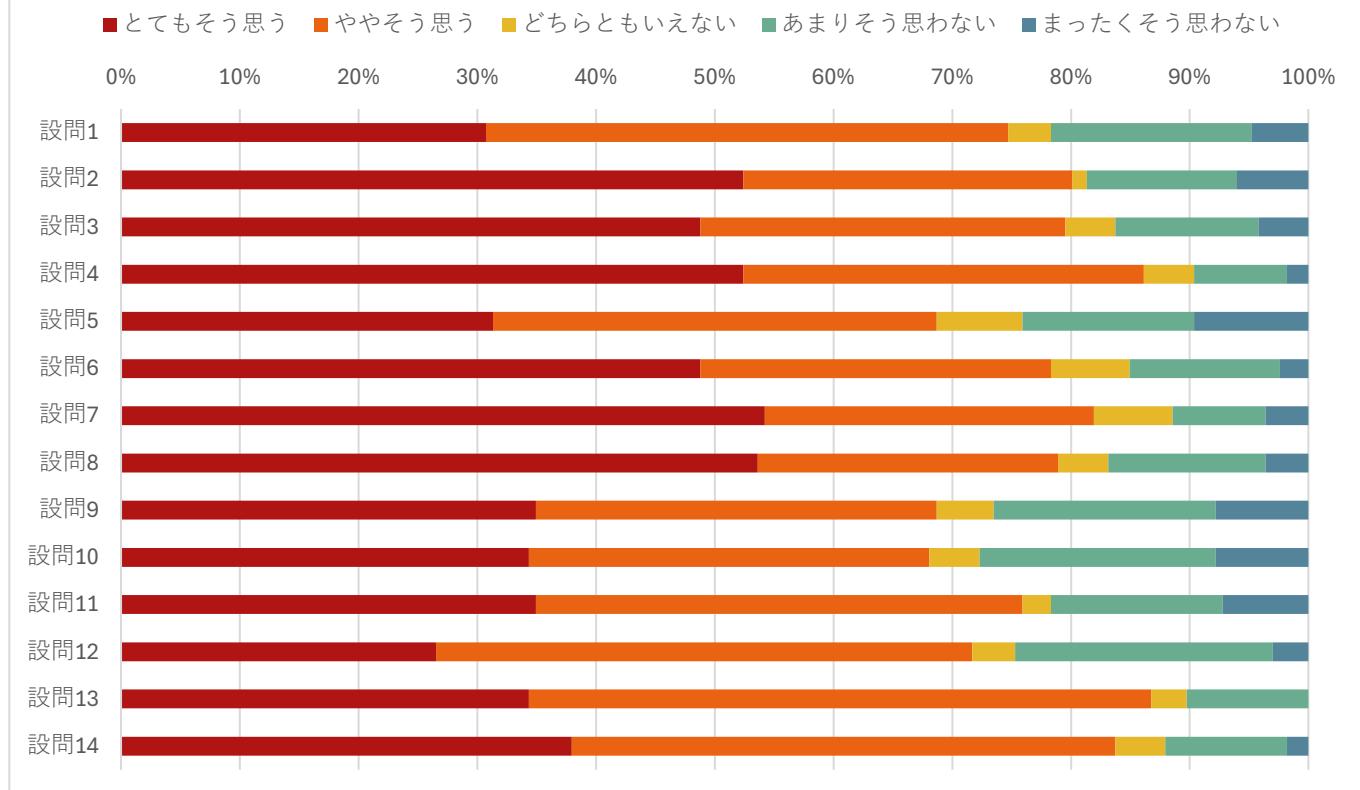
設問11 毎日学校に行くのが楽しいですか?

設問12 授業(じゅぎょう)で進んで発言(はつげん)したり、友達(ともだち)と自分の考えを出し合いながら話し合ったりしますか?

設問13 自分や友達(ともだち)のよさを認め(みと)め合いながら、きまりを守(まも)って生活をしていますか?

設問14 授業(じゅぎょう)やいろいろな活動を最後(さいご)までやり通すことができますか?

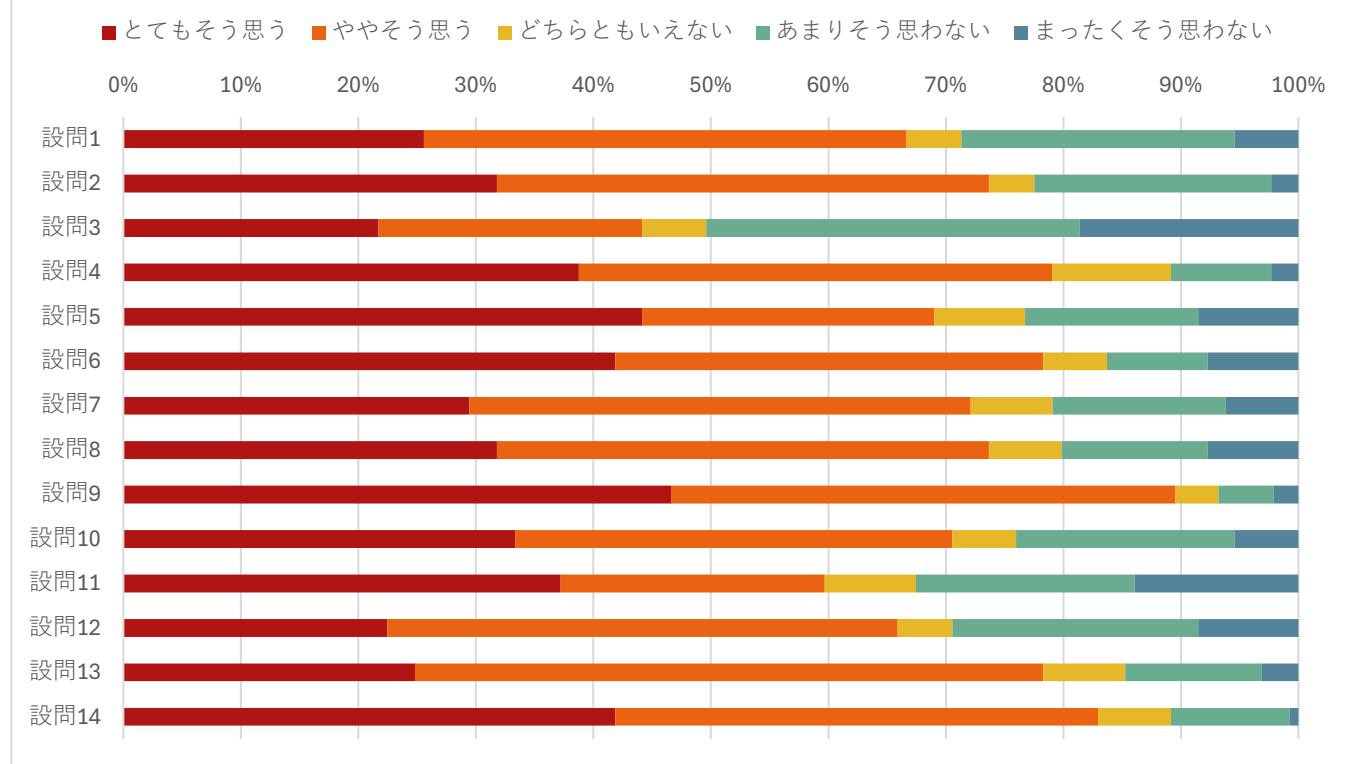
グラフ3：3-4年アンケート選択回答割合(3,4年全体)



5-6年 子どもアンケート設問集計

- 設問1 困ったとき、家族の人に自分の気持ちを伝えたり、相談したりできていますか？
- 設問2 家族の人と学校でのことをよく話したりしますか？
- 設問3 家族の人が授業（じゅぎょう）や行事を見に来てくれることがうれしいですか？
- 設問4 家族の人は、よくほめてくれたり、自分や友達（ともだち）がまちがったことをしたときに注意してくれたりしますか？
- 設問5 家族の人や先生以外で、困ったことがあったときに相談できる人はいますか？
- 設問6 井荻小学校を好きですか？
- 設問7 先生と気軽に話したり、困ったとき相談したりできますか？
- 設問8 授業（じゅぎょう）の内容（ないよう）や速さは、自分に合っていますか？
- 設問9 毎日学校に行くのが楽しいですか？
- 設問10 自分たちが上級生であると思って、下級生たちに接（せつ）していますか？
- 設問11 中学生になることを楽しみにしていますか？
- 設問12 授業（じゅぎょう）で進んで発言したり、友達（ともだち）と自分の考えを出し合いながら話し合ったりしますか？
- 設問13 自分や友達（ともだち）のよさを認（みと）め合いながら、きまりを守って生活をしていますか？
- 設問14 授業（じゅぎょう）やいろいろな活動を最後までやり通すことに努力していますか？

グラフ4：5-6年アンケート選択回答割合（5,6年全体）



子どもアンケートの3年生と4年生全体の集計結果はグラフ3に、5年生と6年生全体の集計結果はグラフ4にまとめられています。3-4年生で肯定的回答が80%を越えたのは、設問4「おうちの人はよくほめてくれたり、自分や友達がまちがったことをしたときに注意してくれたりしますか?」、設問7「井荻小学校を好きですか?」、設問13「自分や友達のよさを認め合いながら、きまりを守って生活をしていますか?」、設問14「授業やいろいろな活動を最後までやり通すことができますか?」でした。子どもたちが井荻小学校を好きであると言えることは、とても嬉しいことです。設問13の内容は保護者の回答と一致していますが、保護者が心配していた回答に対して子どもたちは楽観的に回答しているのは興味深いです。肯定率が低い項目の中には、設問9「おうちで自分から勉強を始めることができますか?」がありましたが、自主性ということではもう少し時間が必要かもしれません。設問5「おうちの人や先生いがいの人で、困ったことがあったときに相談できる人はいますか?」と設問10「先生に何でも話したり、困ったとき相談したりできますか?」の肯定率が低いこと(5-6年生でも同様)は問題です。

グラフ4には5年生と6年生全体の集計結果を示しています。肯定率が高い項目として、設問9「毎日学校に行くのが楽しいですか?」、設問14「授業やいろいろな活動を最後までやり通すことに努力していますか?」があります。「学校に行くのが楽しい」子どもが多いのは、やはり安堵します。設問14に関しては、3-4年生と同じように、保護者の心配とは別に子どもたちは努力しているようです。肯定率が低い項目に目を向けると、設問5「家族の人や先生以外で、困ったことがあったときに相談できる人はいますか?」があつて、3-4年生でも同じ傾向でしたが、いろいろ相談したいことが増える子どもたちに保護者以外の相談先が見いだせないという状況をどのようにして解消したらいいのか課題です。設問12「授業で進んで発言したり、友達と自分の考えを出し合いながら話し合ったりしますか?」も肯定率が低い方で、改善が望れます。設問11「中学生になることを楽しみにしていますか?」の肯定率がかなり低いというのはどういうことなのかこの集計だけでは読み取れませんが、もう少し深く理由を知りたいところです。

3-4年生の設問11、5-6年生の設問9は上述のように肯定的回答が多かった一方、否定的回答がそれぞれ21%と7%とありました。特に、3-4年生の数字が高いのは気になります。また、3-4年生の設問10、5-6年生の設問7も67%、72%と肯定的回答が多いですが、否定的回答が28%と21%と数字が高く先生と気軽に話せない子どもが多い点も気になります。

子どもアンケート自由記述欄のコメント

3年生から6年生の子どもたちには共通に、「井荻小学校に『こうしたらもっといい学校になる』と思うことがあつたら、書いてください。」という自由記述欄を設けました。コメント記入してくれた人数は、3年生49名、4年生50名、5年生47名、6年生49名とまんべんなく多かったです。昨年に比べて約4倍でした。また内容も子どもらしいコメントばかりでなく、特に5、6年生中心にしっかりと考えてくれた上でのコメントが多くありました。現状より学校生活をよくするにはという視点で、「規則を守る」、「暴言をなくす」、「教室をきれいにする」、「挨拶をする」という方向にしたいといった意見を多くの子どもが書いてくれました。子どもたちがよくなつたと実感できるよう、こうしたことの徹底が必要でしょう。目についたコメントとして、複数の子どもが「誰にも知られず相談できるところ」を希望していることです。その他の意見として、「宿題を減らす」、「休み時間を長くする」、「算数以外の習熟度別クラスを設ける」などがありました。

以上